

新任役員の皆様へ

| | |
|---------------------------|---|
| 魅力ある 組合活動とは | <p>労働組合は組合員から求められる活動を展開する必要があります。 魅力ある労働組合を創造していく上でのポイントを整理し、 時代認識をしっかりとった活動の展開を図る為のヒントを得ます。</p> |
| | <ul style="list-style-type: none">①労働組合のビジョンと行動プロセス②問題解決能力を高める組織の創造③ヒューマニズムに根ざしたコミュニケーション |
| 民主的労働運動の 歴史と理念 | <p>自由にして民主的労働運動のルーツ（原点）を探りながら、 時代の課題に対して先達たちはどのように考え行動してきたかを 学び、運動の基本理念を確認し、現在の運動の在り方を考えます。</p> |
| | <ul style="list-style-type: none">①労働運動の発生と時代背景②戦後労働運動の変遷と果たしてきた役割③現在の労働運動の存在意義 |
| 組合リーダーの 役割と心構え | <p>労働組合で重要なのは組合員を代表するリーダーの存在が大切です。 時代認識に立ったケア活動の先頭に立ち、問題に対して主体的に 取り組み、存在感のある組合活動を担うリーダーの役割を考えます。</p> |
| | <ul style="list-style-type: none">①組合員から信頼を得られるリーダーとは②問題感知・発見能力と問題解決能力を高める③組合員に興味と関心を持たせる組織活性化の取り組み |
| 現在の労働組合の 存在意義 | <p>今までの常識が非常識に変わり、様々な価値観が出てきています。 そんな大きな時代変化の中、労働組合が果たしていく役割は何か。 現状認識から未来へ向けて労働組合の存在意義を考えます。</p> |
| | <ul style="list-style-type: none">①今はどんな時代か②求められる運動・活動とは③労働組合の新たな任務 |
| 組合役員の実務と ノウハウ | <p>組合役員として必要な実務能力と上手な仕事の進め方のノウハウ、 集会や会議を円滑かつ民主的に運営する為のコツを学び、 組合民主主義の実践に役立てます。</p> |
| | <ul style="list-style-type: none">①組合役員の実務②組合業務の進め方とポイント③上手なプレゼン方法と運営ノウハウ |

| | |
|---|---|
| <p>民主的な 労使関係とは</p> | <p>労使関係は「鏡に映った自分の顔」と例えられます。互いに緊張感のある、信頼関係を前提とした民主的な労使関係を事例から気づきを得ます。</p> <p>①労使関係の基本理念 ②労使は「和して同せず」と「過度な緊張関係」 ③これからの労使関係とは</p> |
| <p>労働組合の チェック機能と パートナー機能</p> | <p>チェック機能とパートナー機能は民主的労働組合の基本機能として、企業の健全な発展と組合員の生活を守る為に重要となります。この重責を果たす為の内容を学びます。</p> <p>①労働者と使用者の関係性 ②チェック機能とパートナー機能とは ③チェック機能とパートナー機能の相互作用が活力を生む</p> |
| <p>世話役活動の すすめ方</p> | <p>労働運動の原点は職場にあります。職場での世話役活動の領域はより拡がり、専門的な知識や職場役員の活動への意欲が求められます。そこで、組合員に喜ばれる活動や進め方について理解を深めます。</p> <p>①民主的労働組合の目的と特徴 ②組織運営とリーダーシップ ③時代認識とリーダーの役割</p> |
| <p>効果的な職場集会の 開き方</p> | <p>職場の声を吸い上げ、活動に活かすことは組織運営の基本です。活気ある職場集会を運営し、全体の意思疎通を図る重要な活動です。そこで効果的な職場集会の方法について学んでいきます。</p> <p>①職場集会の目的と効果 ②目的達成に向けた進め方と雰囲気づくり ③意見集約とクロージング</p> |
| <p>組合活動での ファシリテーション</p> | <p>職場での会議や集会、委員会等の場で、参加や発言を促したり、議事を整理する進行（ファシリテーション）の役割は重要です。その上手なスキルを学習します。</p> <p>①意見を整理し建設的な発言を引き出すスキル ②協働的な活性化と認識の一致の為のスキル ③納得できる合意形成と相互理解の為のポイント</p> |

| | |
|-----------------------------|--|
| オルグ能力を 高めよう | <p>労働組合の原点である職場の声を、対話を通じて吸い上げ、活動に活かしていくことは組織運営の基本です。組織決定された内容について理解・納得・共感を得る為の活動を学びます。</p> <p>①対話活動の目的とねらい ②具体的な進め方とスキル ③ロールプレイによるケース別実践学習</p> |
| やる気を引き出す コーチング | <p>仲間の「やる気」や「能力」を引き出し、育成していくのはリーダーとしての大きな役割です。フラット型・ネットワーク型組織の中で人材育成についてポイントを学びます。</p> <p>①無限の可能性を引き出すパートナーとしてのコーチ ②質問型コミュニケーションとは ③信頼と友愛に基づいた職場でのコーチング</p> |
| 新しい安全衛生活動 のすすめ | <p>安全衛生活動は現在の活動目的・理念から変えなければ、災害撲滅は期待できません。生産性と安全衛生、経営における理念の転換を行い、予防義務型のスタイルを確立する必要があります。</p> <p>①安全衛生活動の現状と課題 ②労働組合の視点に立った安全衛生 ③リスクアセスメント等の活動をどのように進めるか</p> |
| カウンセリング マインドを学ぼう | <p>より良い人間関係の中で大切なのが「人の心がわかる心」。職場コミュニケーションの根本となるカウンセリングマインドとスキルを学びます。</p> <p>①カウンセリングの目的と理論 ②カウンセリング実習 ③職場コミュニケーションで活かす為に</p> |
| メンタルヘルス マネジメント | <p>メンタルヘルスマネジメントの基本と対応法を把握し、その原因を職場から無くす活動のすすめ方、メンタルヘルス不調への具体的な対応について学習します。</p> <p>①メンタルヘルスの内容と現状 ②安全衛生の視点に立ったメンタルヘルス増進活動 ③不調の方への対応スキル</p> |

| | |
|----------------------------|--|
| 組合役員の リテラシー能力開発 | <p>様々な情報があふれている時代、労働運動を進めていく為には、高度な判断をする為の情報リテラシー能力が必要です。 正しい情報を獲得・管理・活用する学習を行います。</p> <p>①情報活用能力を高める ②情報の有効性と信頼性の確認 ③リーダーとしての正確な判断の為に</p> |
| 春闘の歴史 | <p>春闘は日本独自の取り組みとして昭和の時代に誕生し、日本の発展に貢献してきました。一方、現代では様々な課題も見えてきました。 今回は歴史を振り返りながら、今後の春闘の形を模索します。</p> <p>①政治闘争から経済闘争への転換 ②交渉による労働条件の向上 ③これからの春闘の展望</p> |
| 新たな職場活動とは | <p>目まぐるしく変化する労働環境。様々な課題の中で新たな時代の職場活動を創造することが求められています。 今までの職場活動も踏まえつつ、新たな職場活動を考えていきます。</p> <p>①今までの職場活動を振り返る ②現状の課題から職場活動の在り方を考える ③新たな職場活動とは</p> |
| 生産性三原則 | <p>戦後、政労使の3者によって作られた生産性三原則は、労使の取り組みによって利益を拡大し、労働条件の向上をもたらしました。 これまでの、またこれからの生産性三原則について考えていきます。</p> <p>①生産性三原則の歴史 ②生産性三原則の考え方 ③生産性三原則の課題</p> |
| アイスブレイクの 基本 | <p>人はリラックスすることで緊張が緩和し、十分な力を発揮できます。 それはスポーツだけではなく日常でも活用できます。会議前等で使えるアイスブレイクを紹介しながら実践から学んでいきます。</p> <p>①アイスブレイクとは ②アイスブレイクの種類と効果 ③実践！アイスブレイク</p> |